

どうか弱いままでいてください。

強くなろうとしないでください。

なぜならば、もう強いからです。

これ以上強くなったら、余計にひとりぼっちになるだけです。

誰もそんな鋼のロボットのような人間、望んでません。

そして、

「虐待された」という過去を消そうとしないでください。

なぜならば、

それを含めてあなたは「美しい」からです。

「虐待されたから残りの人生も全部悪い」って、

人生、そんな単純じゃないです。

はじめに

「虐待というネタ振り」

ぱっと世界が変わる。

「ママ！」と呼びながら私に抱っこをせがむ娘が目の前にいる。

そうだ。私は今洗濯物を畳みながら娘を見ていたのだった。

日曜日の今日、夫は趣味の献血に行っている。夫が帰ってくるまで娘と二人で過ごしていたんだった。そうだ。

ここが私の「今」の世界だ。

ほっと胸を撫で下ろして娘を抱き上げる。

「どうしたの？ 眠たい？ おもちや飽きちゃった？ ママと自転車にでも乗ってお買い物に行こうか？」

そう娘に話しかける。

安心したのか娘はコックリコックリと私の腕の中で眠りだす。

涙を堪えながら私は娘をぎゅつと抱きしめた。

「なんて幸せな世界なんだろう。この幸せをずっと願っていた」そう思いながら。

よく人に聞かれる言葉がある。

「どうしてそんな環境にいたのに犯罪者にならなかったの？ どうして幸せになれたの？」

そう度々人に聞かれる。

理由はとても簡単だ。

私が被虐待児だったからだ。

「被虐待児」とは虐待されている子ども、または子どもだった者。

私は虐待を受けて育った。

だから犯罪者にならないし、幸せなのだ。

なんだか今の社会では「被虐待児は負の連鎖を続けて不幸になる」というのが常識らしい。

誰がそんな嘘をついたのだろうかといつも考える。

けど私も過去に、その嘘に踊らされた人間だった。

本書に書かれるものは奇をてらいすぎてゐるかのように思うほど、

「あり得ない話」が詰まっている。

簡単に言うと、

「虐待を受けた人間が不幸になるっていうの大嘘だよ」という話だ。

言い方を変えれば、

「虐待を受けた人間が幸せになる方法」とも言える。

社会の常識の言うとおりにしていたら不幸になるが、

被虐待児には被虐待児の「幸せのなり方」がちゃんとある。

それを伝えようとしているのが本書だ。

過去に虐待を受けたことのある皆さん、

あなたたちに伝えたいことがあります。

「虐待」というのは漫才で言うところの「ネタ振り」です。

他の人よりも大きいネタをもらえました。

ネタが大きいと良いことがあります。

「ツッコミ」がたくさん入られて、そして誰よりも「オチ」が面白いのです。

めっちゃ「面白い漫才」のできあがりです。

今年のM・1の覇者になるのは約束されたも同然です。

何が言いたいかというと、

「虐待」という「ネタ振り」は、

「面白い漫才」という「最高の人生」が待っています。

この最高の人生が約束されているネタをもらった私たちは本当にツイてます。

「虐待されてラッキー！」です。

元々、私自身も、

「被虐待児ってなんて最悪な人生なんだろう……」と思つて生きてきたのですが、

カウンセラーになつてしばらくしたときに、
カウンセラー仲間にあることを言われたんです。

「もし、彩花の人生を歩めと言われたら絶対に嫌やけど、でもその経験が羨ましい。
カウンセラーになつて身に染みた。

クライアントさんの相談内容によつては重たすぎるものは、
こつちも答えられへん。だつて経験してないからさ。

そう思ったときに、彩花がカウンセラーとして、どんな重たいクライアントさんにもカウンセリング
できてどんな相談にも答えれるつてめちゃうくちや強いなつて。

本当に羨ましいわ。こんなこと言うたらあれやねんけどさ」

そう言われたときに、「なるほど！」と思つたんです。

実は言うど私は、カウンセリングでどんな相談内容がきても困つたり悩んだりしたことがないんです。
どんな内容も「想定内」だからです。

重たく感じないんです。

このときに、

「もしかして虐待つて環境、超美味しいinchayun!? めちゃくちゃラッキー者かもよ!」
と閃いたのです。

そこから物の見方を変えてみたら、

出てくる出てくる。

「虐待されてラッキー」と思う物事や考え方、見え方や生き方。

「あかん！ どう考えても最高のおもしろい人生しか待ってへん！」

そう思った瞬間に、

「おとん、おかん、虐待してくれてありがとうー!!」

おかげでこんなに幸せな考え方になれたわー!

カウンセラーとしても人間としても最高やわー!

と一気に恨み辛みが昇華したのです。

だから必要以上に落ち込まないでほしいのです。

死にたい気持ちもわかるし全否定しないけどちょっと待って。

私も引くぐらい自殺未遂してきたから気持ちは理解できる。

それでもちよつと待って。

この本読んでからでもよくないですか？

「普通の人」とはやり方が違いすぎるけど、

でも、

めっちゃ面白くって最高の人生、やってみませんか？